



さかな たまご かず おお たまご う さかな 魚の卵はみな数が多いの、卵を産まない魚もいるの

とり たまご せわ 鳥は、卵やひなの世話をする

おな たまご う さかな とり くら
同じように卵を産んでふえる、魚と鳥を比べてみましょう。

とり たまご いちど こ たまご う ははどり ちちどり りょうぼう はこ
鳥は、たいてい、一度に2～5個ぐらいの卵を産み、母鳥と父鳥の両方で、えさを運び
せわ
世話をし、ひとり立ちするまでめんどろをみます。敵に卵やひなをうばわれたりして、
おとなになるまえ し
おとなになる前に死んでしまうものもいます。でも、とり う たまご
は、魚よりずうっといいので、魚より産む卵が少なくても、しそん のこ
子孫は残っていきます。

さかな い すく 魚は、おとなになるまで生きのびるものが少ない

さかな おや たまご せわ たまご こうお きけん
魚には、グラミーのように親が卵の世話をしたり、卵からかえった子魚を、危険なと
きにはくち い まも
きには口に入れて守ったりするティラピアなどがいます。しかし、たいていは、さかな たまご
う
産みっぱなしになり、卵も、卵からかえったばかりの小魚も、ほかの魚のえさとして、
だいぶん た うん さかな い
大部分が食べられてしまいます。運のよかったわずかな魚が、おとなになるまで生きのび
て、つぎ たまご う さかな たいりょう たまご う しそん のこ
で、次の卵を産みます。ですから、魚は、大量に卵を産まないと、子孫が残らないので
す。うみ たまご
海にただよっているようなマンボウは、なんと3億個、ウナギは760万個の卵を産む
といわれています。

たまご う さかな 卵を産まない魚もいる

グッピーやウミタナゴ、カサゴ、シーラカンスなどは、おなかの中で卵がかえり、そと う
まれてくるときはこざかな
こざかな
小魚です。こんな例は、らんたいせい
らんたいせい
卵胎生といいます。（監修・安部 義孝）

